

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34 京都橋女子大学企画広報課 田北十生気付
(Tel) 075-574-4112 (Fax) 075-574-5141

ご 案 内

大図研京都セミナー2001 「ネットワーク環境下における図書館サービス」 スケジュールが決まりました!

日時：2001年4月から8月（月1回・土曜日）全5回
14:00-15:30 講演 15:40-17:00 質疑応答

*第5回会員による発表は、3本予定（各発表時間30分、質疑応答20分）

場所：キャンパスプラザ（JR京都駅前）

参加費：1000円/1回（第5回を除く）

主催：大学図書館問題研究会京都支部（音声記録をします）

*各セミナー終了後、懇親会を予定

*第5回発表への応募締切は2001年2月28日（水）

第1回 4月28日（土）

湯浅俊彦氏（旭屋書店）「デジタル時代の出版メディア」

第2回 5月26日（土）谷口敏夫氏（光華女子大学）「電子図書館の評価」

第3回 6月23日（土）

大城善盛氏（同志社大学）「ネットワーク時代の情報リテラシー教育」

第4回 7月14日（土）北克一氏（大阪市立大学）「メタデータと図書館」

第5回 8月4日（土）大図研会員による個人発表3本 ***募集中***

【お知らせ】

上記セミナーの申込みは、大図研京都のホームページからも簡単に出来ますので大いに利用してください！

また、電話やメールでの申込みもOKです。

参加は先着50名様でうち切らせて貰いますのでよろしく！

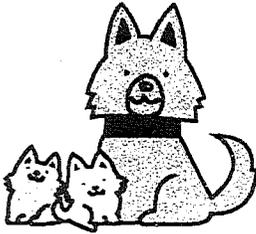
目次	大図研京都セミナー2001.....1頁
	お知らせ.....1頁
	「ネットワーク環境下における情報サービス（仮）」開催のために.....2頁
	セミナーの発表者募集中!.....4頁
	第4回支部委員会報告.....4頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで編集気付（dkamr302@kyoto.zaq.ne.jp）takitaまで

国立大学の電子図書館

大図研京都セミナー2001

「ネットワーク環境下における図書館サービス」 開催にあたって



呑海 沙織

大図研京都支部では「ネットワーク環境下における図書館サービス」をテーマに連続セミナーを企画している¹⁾。このセミナーでは、「出版メディア」「電子図書館」「情報リテラシー」「メタデータ」等さまざまな観点から、変容しつつある図書館サービスについて理解を深め、これからの図書館サービスについて考えることを目的としている。

セミナー開催にあたって各支部委員が関連する事柄について書くこととなったが、今回は国立大学を中心に日本の電子図書館システム構築の経緯をふりかえってみたい。

国立大学の電子図書館においては、「国立大学図書館協議会図書館情報システム特別委員会次期電算化システム専門委員会報告」及び学術審議会による「大学図書館における電子図書館機能の充実・強化について（建議）」が、大きな役割を果たしたといえよう。

国立大学図書館協議会は、1954年に全国国立大学図書館長会議として発足し、1968年改組された「全国の国立大学および放送大学の附属図書館100館を会員とする組織で、会員相互の連携と協力により国立大学図書館の振興をはかり、大学の使命達成に寄与するとともに、広く図書館活動に貢献することを目的」²⁾とした組織である。

同協議会図書館情報システム特別委員会次期電算化システム専門委員会では、1994年から1997年にかけて4回にわたり図書館システムに関する報告書が作成された³⁾。第二次報告書において電子図書館の方向性の提示、第三次報告書において電子図書館実現に向けての提言がなされている。

1996年7月29日文部省学術審議会においても、「大学図書館における電子図書館機能の充実・強化について（建議）」⁴⁾が提出され、国立大学図書館における電子図書館に大きな影響を与えた⁵⁾。大学図書館における電子図書館的機能の推進について具体的に言及し、電子図書館を「電子的情報資料を収集・作成・整理・保存し、ネットワークを介して提供するとともに、外部の情報資源へのアクセスを可能とする機能をもつもの」と定義した。

この建議に基づき前述の次期電算化システム専門委員会によって第四次にあたる平成8年度報告（平成9年6月）が作成され、全国調査に基づく今後の課題、電子図書館の現状と課題についてまとめられた。

これらの動きを受けて、1995年度から1998年度にかけて、奈良先端科学技術大学院大学、筑波大学、京都大学、図書館情報大学、東京工業大学、神戸大学に電子図書館予算が認められ⁶⁾、電子図書館システムが導入された。

奈良先端科学技術大学院大学においては、印刷物のない附属図書館としての電子図書

館構築が目的とされており、学外出版物の電子化に特徴がある。京都大学の電子図書館においては、貴重書の電子化とその一般公開及び読書支援機能の提供、筑波大学においては学内学術生産物の全文電子化とその提供、図書館情報学においては図書館情報学に関するゲートウェイ・サービス、東京工業大学においては理工学分野の多様な情報資源のポータルサイトとしての機能、神戸大学においては阪神・淡路大震災関連資料（震災文庫）等多様な形態の資料の電子化による電子アーカイブの構築をそれぞれ特徴としている。

国家政策としての電子図書館プロジェクトは、これら文部科学省による国立大学への予算措置による電子図書館システム構築の他、国立情報学研究所（NII）電子図書館システム、通産省の高度情報化プログラムのひとつで情報処理振興事業協会（IPA）と国立国会図書館の共同実験プロジェクトであるパイロット電子図書館実証実験プロジェクト、2000年3月まで同じく通産省、IPA、国立国会図書館の共同プロジェクトである次世代電子図書館研究開発プロジェクト、国立国会図書館とBBCC（新世代通信網実験協議会）による各種電子図書館システム実証実験など、大規模に展開されている。

電子図書館システムは個々において完結するものではなく、相互に接続されてはじめて「電子的情報資料を収集・作成・整理・保存し、ネットワークを介して提供するとともに、外部の情報資源へのアクセスを可能とする機能」を実現するものである。

各電子図書館プロジェクト相互や各国との調整・協力が今後ますます重要になってくるであろう。1998年から国立国会図書館は、大学、公共図書館、専門図書館等の情報交換を目的に、「電子図書館全国連絡会議（仮称）」を開催しているが情報交換にとどまることなく、各電子図書館プロジェクトの調整やリソース・シェアリングの機能を求めたい。

地球規模の電子図書館を視野に入れ、世界の電子図書館の一部としての日本の電子図書館、日本の電子図書館の一部としての大学の電子図書館という、「全体を構成する一部分である」という観点からのポリシーをもった運営が、これからの電子図書館システム構築に不可欠になっていくのではないだろうか。

（どんかい さおり 京都大学附属図書館）

注：

1)セミナーの詳細については、大図研京都支部のホームページを参照のこと。

<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/>

2)国立大学図書館協議会 <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/anul/>

3)各報告については次の URL において参照することができる。

<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/anul/Kdtk/contents.html>

4)大学図書館における電子図書館機能の充実・強化について（建議）は次の URL において参照することができる。<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/anul/material/kengi.html>

5)篠塚富士男、栗山正光。国立大学図書館における電子図書館プロジェクト：その経緯と現状 「情報の科学と技術」, 49(6), p.284-289, 1999.6.

6)「官報政府調達公告版に載った電子図書館関係の入札広告」については次の URL を参照のこと。 <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/~okamoto/kampo/el.html>

7)各電子図書館の URL は以下のとおり。

a.奈良先端科学技術大学院大学電子図書館システム

<http://dlw3.aist-nara.ac.jp/index-j.html>

b.筑波大学電子図書館

TULIPS : Tsukuba University Library digitized Information Public Service

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>

c. 京都大学電子図書館システム

<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/minds.html>

d. 図書館情報大学デジタル図書館 (ULIS-DL)

<http://lib.ulis.ac.jp/>

e. 東京工業大学電子図書館 (TDL)

TDL : Titech Digital Library

f. 神戸大学附属図書館 (Kobe Digital Library)

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/>



大図研京都支部セミナー

「ネットワーク環境下における情報サービス」の現況と展望

1人あたり、発表時間は30分、質疑応答は20分で構成されます。

意欲ある方は奮って応募して下さい。

応募の締切日は2月28日とさせていただきます。

応募先は

井上 麗人 まで 立命館大学総合情報センター情報管理課
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
Tel:075-465-8222 Fax:075-465-8252
E-mail:ino-mst@st.ritsumei.ac.jp

第4回京都支部委員会報告

日時：2001年1月16日(火) 19:00~21:00

場所：京都大学附属図書館3Fスタッフラウンジ

出席：井上、大館、大綱、金森、篠原、田北、呑海

【報告事項】

1. 会員情報 2. 財政情報 3. その他

【審議事項】

1. 大図研セミナーについて
 - ・日程について検討し決定した。
2. 支部報について
 - ・「教珠つなぎ」の執筆者を他支部会員にも拡大する。
 - また、2回目の執筆も依頼する。
3. 日図協評議員選挙について
4. 新入会員からの会費徴収について
 - ・入会希望者には以下の選択をしてもらう。
 - 1) 即時入会の場合は、加入年度の会費徴収とともに加入月以降の支部報を配布する。在庫があれば、バックナンバーのうち加入年度分を配布する。
 - 2) 次年度開始月入会の場合は、次年度開始月まで会費を徴収しない。支部報は次年度開始月から配布する。
 - ・常任委員側の方針を確認する。
5. 次回支部委員会 2月13日(火)
 - 於 京都大学附属図書館3Fスタッフラウンジ